



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月12日

東

上場会社名 フラー株式会社

上場取引所

コード番号 387A

URL <https://www.fuller-inc.com>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 山崎 将司

問合せ先責任者（役職名） 取締役CF0兼経営管理グループ長（氏名） 宮毛 忠相 （TEL）04（7197）1699

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第1四半期の業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期第1四半期	484	—	4	—	△4	—	10	—
2025年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	5.99	5.54
2025年6月期第1四半期	—	—

（注）当社は、2025年6月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2025年6月期第1四半期の数値及び2026年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年6月期第1四半期	1,776	1,067	60.1
2025年6月期	1,834	989	53.9

（参考）自己資本 2026年6月期第1四半期 1,067百万円 2025年6月期 989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—				
2026年6月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,232	11.1	200	5.4	187	0.7	160	△18.8	94.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期1Q	1,697,020株	2025年6月期	1,635,520株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	80株	2025年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期1Q	1,682,043株	2025年6月期1Q	—株

(注) 当社は、2025年6月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2025年6月期第1四半期の期中平均株式数は記載していません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想その他の将来に関する記述（以下「業績予想等」）は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。当社は、この業績予想等の達成を約束するものではなく、実際の業績は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想等に関する前提条件、ご利用にあたっての注意事項等のご説明は、添付資料「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計上の見積りの変更)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものです。なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、物価上昇、米国の通商政策による影響が見られるものの、消費、雇用環境の改善により、緩やかに回復しています。当社が属するソフトウェア開発業界においては、引き続き、社会・ビジネスのあらゆる場面においてデジタルトランスフォーメーション（DX）が推進されており、中でも当社が軸足を置くスマートフォンアプリ関連市場はDXの中核分野の一つとして需要が高まっています。

このような市場環境において、当社は、事業企画、デザイン、システム開発・運用、データ分析等のソリューションを一貫して提供し、クライアントのビジネス成功とともに実現することを目指す「デジタルパートナー事業」を推進しました。

当第1四半期累計期間の業績については、前期から取り組んできた大型の開発案件が一段落し、稼働率が一時的に低下した影響により、売上高484,425千円となりました。

クリエイティブ人材の積極採用による売上原価の増加や体制強化のための人件費増加があり、営業利益4,461千円となりました。

また、営業外損失として、上場に伴う上場関連費用9,068千円を計上し、経常損失△4,966千円となりました。

これらに加えて、繰延税金資産の積み増しによる法人税等調整額△15,321千円（△は益）を計上し、四半期純利益10,077千円となりました。

なお、当社はデジタルパートナー事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載を省略しています。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は1,776,448千円となり、前事業年度末と比べ58,354千円減少しました。主な変動要因は、現金及び預金の減少124,999千円、投資その他の資産の増加18,055千円、前払費用の増加20,494千円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加16,194千円です。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は708,554千円となり、前事業年度末と比べ136,469千円減少しました。主な変動要因は、未払費用の減少125,269千円、長期前受金の減少42,369千円、前受金の増加39,562千円、賞与引当金の増加39,278千円です。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は1,067,894千円となり、前事業年度末と比べ78,115千円増加しました。主な変動要因は、資本金の増加34,150千円、資本準備金の増加34,150千円、利益剰余金の増加10,077千円です。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想については、2025年8月12日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,355,555	1,230,556
受取手形、売掛金及び契約資産	251,615	267,809
仕掛品	11,433	14,063
前払費用	34,540	55,034
その他	120	9,950
流動資産合計	1,653,264	1,577,414
固定資産		
有形固定資産	42,622	42,062
投資その他の資産	138,915	156,971
固定資産合計	181,538	199,034
資産合計	1,834,803	1,776,448
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,513	23,044
1年内返済予定の長期借入金	100,008	100,008
未払金	9,803	8,610
未払費用	251,215	125,945
未払法人税等	1,098	23
未払消費税等	46,253	33,401
前受金	13,962	53,524
預り金	3,571	3,490
賞与引当金	—	39,278
流動負債合計	456,425	387,327
固定負債		
長期借入金	331,648	306,646
長期前受金	56,950	14,581
固定負債合計	388,598	321,227
負債合計	845,023	708,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,379	84,529
資本剰余金	366,437	400,588
利益剰余金	572,962	583,040
自己株式	—	△263
株主資本合計	989,779	1,067,894
純資産合計	989,779	1,067,894
負債純資産合計	1,834,803	1,776,448

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	484,425
売上原価	320,659
売上総利益	163,765
販売費及び一般管理費	159,303
営業利益	4,461
営業外収益	
受取利息	1,153
営業外収益合計	1,153
営業外費用	
支払利息	1,055
上場関連費用	9,068
その他	458
営業外費用合計	10,581
経常損失(△)	△4,966
税引前四半期純損失(△)	△4,966
法人税、住民税及び事業税	277
法人税等調整額	△15,321
法人税等合計	△15,044
四半期純利益	10,077

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年7月24日に東京証券取引所グロース市場に上場しました。上場にあたり、2025年7月23日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式）による普通株式60,000株の発行（発行価格1,170円、資本組入額538.2円）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ32,292千円増加しています。

(会計上の見積りの変更)

(敷金の回収不能見込額の見積りの変更)

当社は、事業所の賃貸借契約について、資産除去債務に代えて敷金の回収不能見込額を合理的に算定し、賃借期間（使用見込期間）にわたり費用配分する方法（簡便法）を採用しています。

このたび、当該賃貸借契約の更新に伴い、使用見込期間に関する見積りの変更、及び原状回復費用に関する新たな情報の入手に伴い、回収不能見込額に関する見積りの変更を行いました。

これらの見積りの変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第1四半期累計期間において、営業利益が22千円増加、経常損失及び税引前四半期純損失がそれぞれ22千円減少しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社はデジタルパートナー事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載を省略しています。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費は、次の通りです。

	当第1四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	4,596千円